

# 平成30年度 山口県教育委員会当初予算案発表!

～県教連が要望してきた内容が新規事業として3つ、拡充された事業内容に4つ、新規内容に1つ盛り込まれる～



発行 山口県職員団体連合会  
 代表者 島田 暢之  
 編集人 田中 元晴  
 山口市大手町教育会館内  
 電話 (083) 922-2049番  
 FAX (083) 921-0907番  
 E-mail: kyoren@orange.ocn.ne.jp  
 ホームページ http://www.kenkyouren.com



2月21日に、平成30年度山口県教育委員会当初予算案が発表されました。総額は132億7,894万8千円で前年度比0.9%の減少となっていますが、「教員の長時間勤務の是正」や「やまぐち型地域連携教育の充実」、「高等学校における特別支援教育体制整備の充実」、「小学校における英語科教育の充実」等をめざす予算編成となっています。

主な事業及び事業内容は、次の通りです。なお、県教連がこれまでの交渉で要望してきた内容（青字）も新規事業や拡充という形で反映されています。

## 知・徳・体の調和のとれた教育の推進

- やまぐち部活動応援事業
  - 部活動の活性化及び顧問である教員の負担軽減を図るため、技術指導が困難な運動部活動に対し、専門的な指導や大会への引率等を行う部活動指導員を公立中学校・県立学校等に配置 122人
  - 部活動指導員養成システムの構築
  - 小中学校日本語指導支援員配置事業
    - 基地周辺地域の市町立小中学校における日本語指導支援員の配置を支援

## 拡充された事業内容及び新規内容

- 高等学校における特別支援教育体制整備充実事業
  - 研究指定校での通級による指導の導入に向けた実践研究特別支援教育センター校（7校）と地域の高等学校が連携した支援体制の構築
- 小学校英語専科教員の配置
  - 専門性の高い学習指導や教員の持ち授業数の負担軽減のため、小学校英語専科教員を配置

## いじめ・不登校対策強化事業

- 市町配置のSSWへの指導・援助や学校いじめ対策組織への指導・助言を実施するエリア・スパーパイザ1の配置 4人
- いじめの重大事態等に対して、SC、SSW等の専門家派遣し、心のケア・早期発見を支援
- 教師がいじめや自殺に対する正しい知識を身につけ、適切に対応するための研修を実施
- 管理職を対象とした自殺予防教育の導入に向けた研修を実施

## 「いじり」への適切な対応や、指導方法を盛り込んだ指導資料を作成・配付

「いじり」への適切な対応や、指導方法を盛り込んだ指導資料を作成・配付

## 質の高い教育環境づくりの推進

- 学校における働き方改革環境整備事業
  - やまぐち総合教育センターが独自開発した小・中学校の校務支援ツールについて、新学習指導要領に対応させるための改修を実施
  - 全県共通の「統合型校務支援システム」を全ての県立高等学校・中等教育学校へ導入し、校務の効率化・合理化の推進
  - 県立学校において、ICカード等の導入、留守番電話機能の追加及び勤務時間外の緊急用携帯電話の配備
- 学校業務支援員配置事業
  - 学校の事務的業務（資料印刷・整理、データ入力、会計業務等）を補助する「学校業務支援員」を、平成29年度の1か月あたりの時間外業務時間が60時間以上の小中学校に配置 70校

## 生涯にわたる県民総参加の教育の推進

- 地域教育力日本一推進事業
  - 各学校・地域における取組充実に向けた助言・支援を行う地域連携教育アドバイザーの配置 15人
  - 地域連携教育アドバイザー及び県立学校のコミュニティ・スクール（取組に対する助言・支援を行う地域連携教育エキスパート）の派遣 2人
  - 学校運営協議会委員や地域コーディネーターとの連絡調整、会議資料の作成等、学校が行う地域と連携した取組に係る業務の支援を行う地域連携活動支援員を各市町のモデル中学校区に配置 30人

## その他、継続される事業

- 学習指導要領趣旨徹底事業
  - 小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業
  - 小・中学校における起業体験活動モデルの構築
  - 小中一貫教育推進事業
  - インクルーシブ教育システム推進事業
    - 通級指導担当教員等を対象とした合理的配慮の提供に関するセミナーの実施
    - 医療的ケア実施・研修マニュアル等の作成に向けた調査研究の実施
  - 小1プログラム解消のための30人学級加配教員配置
  - 35人学級化関連事業
  - 学力向上等支援員・特別支援教育支援員の配置
    - 学力向上等支援員 137人
    - 特別支援教育支援員 80人
  - 生徒指導 相談体制充実強化のための教員配置 4人
  - 児童生徒支援加配教員の配置
  - 生徒指導緊急加配教員の配置

## 公示

平成30年度県教連執行部役員信任投票の一般投票及び、代議員による投票を平成29年12月15日の告示に従って行った。厳正な開票の結果、次の者が選出されたので公示する。

平成30年3月7日

山口県教職員団体連合会 選挙管理委員長 石川 昌史	
委員長 (休職専従)	山本 純
副委員長	酒井 美和
副委員長	平原 みゆき
副委員長	木村 俊徳
副委員長	古川 俊裕
副委員長 (休職専従・全日教連出向)	島村 暢之
事務局長 (休職専従)	田中 元晴
事務局次長 (非専従)	竹本 一平
執行委員 (女性教職員部)	貞升 友紀子
執行委員 (青年部)	白石 真也
執行委員 (学校事務職員部)	谷岡 美里
執行委員 (学校事務職員部)	中本 靖美
執行委員 (特別支援教育部)	梶原 誠
執行委員 (特別支援教育部)	田中 隆生
執行委員 (采養教諭・学校采養職員部)	藤中 啓子
執行委員 (采養教諭・学校采養職員部)	水越 媛子
監査委員	齊藤 裕子
監査委員	勝谷 忍
監査委員	中野 美穂

## 平成30年度 予算案発表を受けて

現下の厳しい財政状況の中、県教連がこれまでに要望してきた内容が、新規事業や拡充された事業内容等に盛り込まれたことは、これまでの交渉の成果です。

しかし、学力向上に係る取組の推進や配慮を要する児童生徒への支援等、現場では多岐に亘る業務が求められています。

県教連は、会員1人ひとりが「子供たちと向き合う時間」をしっかりと確保できるように、業務の改善や教職員増員等について、今後とも粘り強く要望・交渉を続けて参ります。